西岡あらた愛媛県政報告

現場主義の即戦力
愛媛県議会議員（現職）
元衆議院議員（1期）
元国会議員秘書（16年）

あらた通信

（令和2年・秋号）

【発行元】西岡あらた事務所
〒794-0823 愛媛県今治市郷本町1−3−40
TEL：0898-33-0307　FAX：0898-35-2012

コロナ禍からの社会の立て直しへ

コロナ対応に1,000億円超の予算措置

中国武漢発の新型コロナウイルスは、世界的に社会へ大きなダメージを与えています。愛媛県は、感染防止・医療体制の充実、事業者支援、雇用・生活維持、デジタルシフト等々、７度の補正予算を組み、総計１,０００億円を超えるコロナ対応の予算で、県民の暮らしの立て直しへ取り組んでいます。

先の９月定例会では本会議に登壇して、今後の県政の課題について理事者側に質問しました。

今後の我が国の統治機構について

問）統治機構についての中村知事のご所見は。

答）急速な人口減少社会の到来や東京一極集中による地域間格差の拡大など、我が国を取り巻く環境が一層多様化・複雑化する中で中央集権体制は時代の構造変化に対応できない。国は外交防衛や安全保障など本来果たすべき役割に専念し、地方が自主・自立の覚悟をもって地域に即した施策を展開できる権限や財源の大胆な移譲など、時代に適合した新たな国・地方の関係を構築する統治機構改革の実現を今後とも国に強く求めて参りたい。

インターネットなどの誹謗中傷の厳正対処へ

問）誹謗中傷への県警の取締状況や対応方針は。

答）刑罰法令に触れると認められる場合は、ＩＰアドレスからの発信元の特定や電磁的記録の解析等、所要の捜査を推進し、被疑者の検挙に努めており、昨年は５件、本年８月末で３件の名誉毀損罪を適用して検挙している。この種の事案を認知した際には、他の犯罪と同様に法と証拠に基づき厳正に対処していく。【県警本部長】

農業現場の視察で今年の農作物の出来などを聴く。（今治市内）

内部統制制度の導入による入札の透明化へ

問）公共事業の入札において期待する効果は。

答）今年度の組織改正で事業部門から入札手続や工事検査を分離し、総務部門と出納部門に集約すると共に、本庁が出先機関の指導監督を行う体制を新たに構築し、業務の透明性の確保等を図っている。入札については、専門性の向上と相互チェック機能強化、談合等の不正防止や事務処理上のリスク軽減や効率・効果的な遂行が図れると期待している。【総務部長】

プロ野球球団の愛媛誘致へ

問）プロ野球１６球団構想への県の姿勢は。

答）私（知事）はかねてからこの夢を抱いている。プロ野球は我が国を代表するスポーツであり、近年は地域に根差した経営戦略が功を奏し、その効果は多方面に亘り計り知れない。誘致に向けて観客数の確保、スポンサーの獲得、球場改修などクリアすべき高いハードルが数多くある。２年後に開催のオールスターゲームの盛り上げなど、機運情勢に精力的に取組み、四国アイランドリーグとも連携を図り、この大きな夢を粘り強く追い求めていきたい。

西岡あらたが“行く、見る、聴く”

上島架橋・岩城橋（9/4）

令和3年度完成予定で、橋桁から主塔の頂上までの高さが日本一となる生名側の主塔で工事内容や進捗状況の説明を受ける。

「スゴ技」を持つ愛媛の企業（8/19）

世界初、インバータ制御を採用するデッキクレーンなどの「スゴ技」を持つ、眞鍋造機㈱の西条工場を訪問。写真は日本初となる500トン吊りクレーン。

東予版未来型農業（7/17）

耕作放棄地が増える島嶼部で、農業の働き方改革と高付加価値化を目指して実験的に取り組んでいる、紅まどんなの園地を見る。

中山間地の農業（8/10）

長雨の影響による野菜価格の高騰や鳥獣被害をはじめ、改植への取り組み状況など、農業を取り巻く現状や課題について話を聴く。

サッカー・FC今治試合観戦（9/13）

J3所属のFC今治のホームゲーム観戦。観客制限の中でもスタジアムは熱気に包まれており。経済をはじめ、地元への様々な効果が期待される。

障がい者就労支援・カイト今治（7/20）

就労継続支援B型事業所で、障がい者の就労状況の視察と意見交換をする。コロナの影響や工賃（賃金）問題など、改善すべき課題は多い。

西日本豪雨災害から2年 ～創造的復興へ～

愛媛県の最優先課題である、西日本豪雨災害の対応状況について視察。行政と建設業者が協力し、園地再編などの産業復興や防災機能の強化に取り組んでおり、復旧･復興は着実に進んでいます。

宇和島市・吉田町

今治市・大島

今治市・伯方島

今治市・大三島

しまなみ海道の段階的無料化へ

愛媛県議会で、しまなみ海道沿線住民への橋代の負担軽減についての請願が採択されて1年が経ちました。また、今年1月には、中村知事が本四高速㈱酒井社長へこの問題を取り上げ、これまで負担軽減に否定的であった酒井社長から、初めて対話に前向きな発言がありました。

尾道市は、以前から単独で障がい者や妊婦に交通費の助成を実施していますが、私が考える解決方法は段階的に通行料金を国、県と今治市が負担するという仕組みです。

本四高速㈱や県レベルでの段階的無料化への環境整備は進んでいます。当然ながら、政策実現のためには地元からの強い要望が不可欠です。引き続き、制度を理解してもらう周知活動をして参りますので、気軽にお問合せ下さい。

【西岡あらた事務所 0898－33－0307　担当：別宮】

一般質問で同僚議員に1年前の請願採択の御礼を述べる。（9/23・愛媛県議会）

街頭演説

辻説法は政治の基本

月曜日の今治･小泉交差点をはじめ、選挙区内各地で街頭に立ち、活動報告や取り組んでいる政策などについて話をしています。